

レイケア ニュースレター



Pharma create
ファーマクリエイト



みなさまと共に
成長する企業を目指して
レイケアセンター

花見の歴史

春の話題

花見の行事は日本ならではの習慣といえよう。花見の歴史は古く、古代においては農村では春の訪れと農耕の開始期を知る手段でもあり、またその年の稲作の具合を花の散り方で占っていた。この時代に、桜の下で円陣を組んで神酒を供えたことから花見の習慣が生まれたという説もあるそうです。

奈良時代の頃には、中国から梅の渡来とともに梅の花を觀賞する文化も伝わり、この時代の代表的な花として万葉集にも梅も多く詠われていました。まだ、桜はそれほど好まれてはいませんでした。しかし、平安時代に入ると、京都には自生の桜が多かったことから、梅から桜へ人々の好みが変わり、貴族の家にも桜が植えられるようになりました。

弘仁3年(812)52代嵯峨天皇が神泉苑で最初の観桜会を開き、以

後、桜の植樹の都で盛んになりました。

源頼朝や足利将軍なども花見を開きましたが、特に豊臣秀吉が主催した吉野や醍醐寺大がかりな花見は大規模でその華やかさは庶民の間でも長く言い伝えられたほどでした。

江戸時代に入ってから八代将軍吉宗の桜への功績が大きく、桜の苗木を飛鳥山、隅田川堤、小金井堤積極的に植えさせ、桜の名所を次々と誕生させました。また、桜の木が多かった上野の寛永寺も花見の期間だけ境内を解放したので、こぞって花見に出かける習慣が生まれ始めました。派手好きの江戸っ子たちは男も女も着物をあつらえ着飾って出かける一年で一番華やかな季節であったそう。

現在の花見の形式は江戸時代に誕生したと言えますね。

春の話題

花見の歴史

お出かけガイド

株式会社レイケアセンター

〒541-0054
大阪市中央区南本町4-2-10
本町永和ビル8階
06-6245-7441

東京レイケアセンター

〒101-0044
東京都千代田区鍛冶町2-2-9
第二登栄ビル7階
03-6206-0910
info@laycare.co.jp

ファーマクリエイト

<http://www.laycare.co.jp>



花より団子、、、？

「花より団子」という諺は花見団子に由来し、花の觀賞という抽象的な行為より団子という実質を選ぶ行動を揶揄したもの。他にも「花に嵐」「人の行く裏に道あり、花の山」などがあります。

月見で食べる月見団子と対照的に桜色(薄い赤色)・白色・緑色などの色で華やかな色彩をつける。この3色の組合せが一般的で桜色は桜を表わして春の息吹を、白は雪で冬の名残を、緑はヨモギで夏への予兆を表現しているそう。



万博記念公園（大阪吹田市）

見頃 3月下旬～4月上旬
時間 9:30～17:00*
万博公園桜まつり期間中は～21:00
入園料 大人 250円・小中学生 70円
桜の数 約 5500本
大阪モノレール線万博記念公園駅から徒歩約 5分

ゆっくり、マッタリ桜を眺めるならやっぱり万博公園。
広大な敷地には芝生もたくさん。お弁当とゴザを持って出掛けたい。

そして万博公園といえば、岡本太郎の太陽の塔。太陽の塔と桜のコラボレーションは一見の価値あります。又、タイミングがあえば恒例の大陶器市にも。ぶらぶらしているだけで楽しめます。



大阪城公園（大阪市中央区）

見頃 4月上旬
桜の数 約 4300本、西の丸 600本
地下鉄谷町四丁目駅から徒歩約 10分

豊臣秀吉が築城した大阪城を取り囲む約 105.6 万㎡の史跡公園。

園内から眺める桜はもちろん、大阪城から出港しているアクアライナー・大阪水上バスでのお花見もおおすすめ。中之島公園、桜之宮公園、大阪城などのコースをめぐれます。



造幣局 桜の通り抜け（大阪市北区）

見頃 4月中旬
通り抜け期間 3月中旬頃決定
時間 10:00～21:00*土・日は 9:00～
料金 無料
桜の数 約 350本
地下鉄天満橋駅から徒歩約 15分

貨幣製造所として日本初の近代設備を整え開設された造幣局構内に咲く「通り抜けの桜」。毎年開花時期にあわせて1週間限定で一般公開されます。週末は混雑するので、できれば平日がおすすめ。日没後のぼんぼりでのライトアップも素敵です。大川寄りから南門から北門にかけて約 560mにも及ぶ見事な桜並木。



参考 マップル お花見特集 2011

上野恩賜公園（東京都台東区）

見頃 3月下旬～4月上旬
時間 上野桜まつり 10:00～20:00
桜の数 約 1200本
JR 上野駅公園口より徒歩2分
昨年の人出 160万人

江戸時代から花見のメッカ、江戸の花見といえば上野の山。開花とともに大勢の人が繰り出します。1200個ものぼんぼりが灯され風情のある夜桜見物が楽しめます。昨今は花見をする日本人を見学にくる海外の観光客もいるそうなので、...



隅田公園（東京都台東区・墨田区）

見頃 3月下旬～4月上旬
時間 ライトアップ 18:30～21:00
桜の数 約 680本
地下鉄・東武線浅草駅から徒歩すぐ
昨年の人出 17万人

8代将軍吉宗由来の隅田公園。台東区と墨田区をまたぎ隅田川の兩岸に桜の帯が 1.2kmにわたって広がります。台東区側の桜橋には、台場や葛西などを結ぶ水上バスの発着所があり、船の上から桜見物も風流かと。屋形船をだす船宿もあり、江戸の風情を楽しみながら、あげたての天麩羅でお酒を楽しむのもお薦めです。



飛鳥山公園（東京都文京区）

見頃 3月下旬～4月上旬
桜の数 約 650本
JR 京浜東北線王子駅南口下車
都電荒川線王子駅前、飛鳥山公園下車
昨年の人出 7万人

徳川吉宗が享保の改革の一環として整備・造成を行った公園として知られる飛鳥山公園。吉宗が桜をこの地に植え、庶民に開放したことに始まる桜の名所。

公園は小高い丘になっており、桜が咲く頃は今で変わらず花見客でにぎわいをみせる。また、公園内に日本初の洋紙工場だった旧王子製紙の収蔵資料の展示のある紙の博物館や渋沢史料館、北区飛鳥山博物館もあり、1日楽しめます。アプローチはチンチン電車の愛称で親しまれる路面電車荒川線どうぞ。

